



志津南ホームページ
<http://waka-kusa.net>

発行
 志津南地区まちづくり協議会
 (事務局) 077-507-6496

まち協だより

第13回理事会 (平成26年1月4日)

- ① 自主防災組織について
 - ・各町内の自主防災会のあり方については、各町内会でさらに議論を深める。
 - ・自主防災委員会を9町内会の自主防災会の連合体である自主防災連合会とする。
- ② 会則の改正案の修正について
 - ・役員の任期「3年を限度とする」を削除。
 - ・会長・監事について、前年度の役員の中から候補者を選定することを、施行細則で規定する。
- ③ 志津南地区広報事業規則の改正案について
 - 「地区」を「学区」に、「事業」を「活動」に、規則の改廃について「総会で改廃できる」を「まち協理事会で改廃できる」に変更する。

第14回理事会 (平成26年1月18日)

- ① 追分南地区3町内会とまち協との4者で合意書を交わし、4月1日から当該3町内会を加えて「志津南学区まちづくり協議会」とする予定。
- ② 会則の改正案の再修正について
 - ・役員の任期の「3年を限度とする」は、「会長については」を加えて、会長に限定して残すこととする。
- ③ 町内会会則の改正について
 - ※以下の点について改正することを確認した。
 - ・役員の選出について、諸事情で引き受けられない方への配慮について、実効性のある規定を盛り込む。
 - ・単年度輪番制の弊害を解消する対策を、条文として規定する。
 - ・会費の区分を明示する。
 - ・代議員の任期を明示する。
- ④ 自主防災会について
 - ・自主防災組織検討委員会の答申を基にした「自主防災組織の手引き」を提示するので、各町内会で十分議論し、早急に進めることとする。



志津南地区まちづくり協議会(中原勝一会長)の平成25年度臨時総会が1月26日、志津南市民センター大

追分南の加入承認

1月26日のまち協臨時総会で

会議室で開催されました。今回の臨時総会は、追分南地区の4町内会から、志津南地区まちづくり協議会に加入の申し入れがあったことを受けて開催されたもので、次の3つの議案について審議されました。

第1号議案「追分南地区4町内会の加入申し入れに対する承諾について」
 第2号議案「まちづくり協議会会則の改正について」

第3号議案「広報事業規則の改正について」
 各議案について会長から説明された後、いくつかの質疑応答がありました。また、第2号議案の会則改正案に対して、一部の規定に反対の意見がありました。採決の結果、3議案とも原案通り可決されました。

志津南に「安心のバトン」

緊急時の救助情報キット

志津南地区は開発から30年が過ぎ、高齢化が急速に進んでいます。高齢の一人暮らしの方も多くなっている。住民の1割以上が

全国各地で、「緊急時の救助」の仕組みとして、救急医療情報キット「安心のバトン」の導入が広がっています。これは救急隊の方に救助現場で医療情報を知らせ、



「安心のバトン」は草津市の日常緊急時の支援制度である「緊急通報システム」と災害時の「災害時要援護者支援制度」を組み合わせたものです。志津南社協で

は、2月2日に福祉委員、民生委員児童委員、社協関係者約50人に対して、この仕組みの導入研修会を行いました。救助に必要な時にの活用されるもので個人情報や漏れる心配はありません。仕組みの説明資料や「安心のバトン」キットの配布

まち協事務局に電話新設

まちづくり協議会の事務局(市民センター内)に電話が新設されました。協

議会への連絡、お問い合わせは、077-507-6496へお願いします。

資源回収

- 2月16日・3月2日 若草一丁目〜五丁目
- 2月22日・3月9日 若草六丁目〜八丁目 岡本町西
- 回収品 古新聞(チラシも可) 古雑誌・段ボール・古着 ☆朝9時までに自宅前へ ※回収時間は配車の都合で夕方になる町内があります。がご理解ください。

3月12日に税の申告相談

草津市・滋賀県民税の申告、所得税の申告(確定申告)などの申告相談を3月12日、志津南市民センターで行います。相談時間は午後1時〜同3時30分です。詳しくは、広報くさつ2月1日号をご覧ください。

(社会福祉協議会)

墨痕鮮やかに書初め大会

志津南地区子ども会は1月4日、志津南市民センターを会場に書初め大会を行いました。写真。



今年は新年早々の開催でしたが、42人の子どもが参加しました。書道教室を主宰する西口青咲さん(若草三丁目)と地区子ども会の先輩で、高校生の松浦慈さん(六丁目)の指導のもと二回に分けて行い、前半の1時間は一年生から三年生で行いました。

一、二年生の中には初めて筆を持つ子どももいましたが、20枚くらい練習をする子どももいて、一生懸命取り組んでいました。四年生以上の高学年組は一字一字

落ち着いて書いていました。先生方の丁寧な指導と一生懸命に取り組む子どもたち、またお手伝いのお母さん方や役員の方の協力もあり、素晴らしい作品を完成させ市民センターに展示されました。

草津市子ども会主催の審査会では、コミュニティセンター理事長賞に二年生の西島創士君と五年生の佐藤優衣さんの二人の作品が選ばれたほか、金賞・銀賞・銅賞にも入り、今年是一年生から六年生までの全学年から入賞者を出すことができました。(子ども会)

左義長に250人



まちづくり協議会の新年恒例の左義長が1月13日に若草中央児童公園で行われ

ました。写真。当日は曇り空でしたが、風もなく左義長日和となりました。

ました。

今年はしめ縄などを燃やす火の囲いも工夫され、飛鳥都市開発、ボランティア「泉」、子ども会などの協力を得て準備を進め、当日は各役員の方々にも参加していただきました。

おかげで、250人余りの参加者が、それぞれが正月の飾り付けやお札、破魔矢、子どもたちの書初めなどを炎の中に投げ込み、この一年の無事を祈りました。

会場では、ボランティア「泉」のみなさんが甘酒を、子ども会がホットカルピスを

昔遊び楽しく

老人クラブ若寿会(鈴木明会長)は1月21日、志津南小学校の一年生を対象に「昔遊びを楽しもう」を実施しました。写真。



児童は98人。教える側は13人で選んだ遊びは、けん玉・あやとり・こままわし・おはじき・だるまおとし・お手玉。3つのグループに分かれて一定の時間ごとに部屋を変わり、6種目全部に挑戦してもらいました。教える側は「名人さん」と呼ばれて、照れくさい感もありましたが、楽しく1時間ほどをすごしました。だるまおとしは6段に積み上げただるまを下から1段ずつ抜いていきます。初

5年生が収穫祭

志津南地区健康推進員連絡協議会は1月16日、志津南小学校5年生(73人)の



収穫祭でおにぎり作り指導や食育講座を実施しました。写真。まず、「お米洗い」から挑

戦。手で4〜5回かき回し水を変えること3回くらいして出来上がり。家で時々手伝いをしている子どもは手際よく洗い上げていました。大きな炊飯器で炊き上がったご飯を見て「すごい」と感動。みんな生き生きとした顔で三角おにぎりに挑戦

めての子は、最後まで振りぬかずに、手を止めてしまいうため、なかなか抜けませぬ。「勢いよく、左の方にしっかり振りぬくように」と教えてあげると大抵の子供ができるようになりました。今回、若寿会だけでは対応できずに急拠、地域の方に応援をお願いし、ようやく実施できました。当日参加していただきありがとうございました。本当にありがとうございました。午後、4班に分かれた児童たちはプレゼント用の「おにぎり」を入れたパックにそれぞれメッセージカードを添え民生委員児童委員と一緒に地域の一人暮らしの高齢者宅へ向かいました。少し緊張気味の児童たちは笑顔で迎えられるとハキハキと「自分たちが収穫したお米でおにぎりを作りました。どうぞ食べてください」「風邪をひかないように元気で過ごしてください」と手渡すと、「今年も来てくれてありがとう」と和やかに笑顔で言葉を交わしていました。訪問後、高齢者の方から「昭和20年前後、お米のない時代に学校代表で近隣の学校へ相撲をとりに行ったが、成績よりも昼食にジャガイモ2個出たことが印象に残っています」と食べ物、お米への感謝を記したお礼状が届けられました。

笑って考えて防災講座

志津南やすらぎ学級第8
回講座が1月22日、志津南
市民センターで開催され、
学級生27人が参加しました
写真。



今回は、「たかしま災害支
援ボランティアネットワーク
くなまず」代表の太田直子
さんと高山京子さんを招き
「笑ってなるほど！防災講
座」と題して、漫才、クイズ、
ロール紙芝居、作業を通して
楽しく身近な防災について
学びました。

漫才ではご近所付き合い
の何気ない話から、災害時
の共助の大切さが浮かび上
がり、笑いながらも大きく
うなずく参加者も見受けら
れました。

三択クイズでは、正解を
予想し札をあげる参加型で、
「消火器の噴射時間は？（答
15秒）」等の出題に、参加
者は「そうなんだ」「知って
る？」など考えながら答え
を探っていました。また工
作では、地震などでガラス
が部屋にちらかることが予
想されることから、足をけ
がしないようにと、新聞で
簡単スリッパを作ったり、
A4サイズの紙と紐を使っ
て作る簡易マスクを作りま
した。「ものが不足した中で
も身の回りのものを工夫し
たらこれだけ色々出来る」

と参加者も感心しきり。
「なまず流」の笑いあり、教
訓ありの講座に「面白かつ
たので印象に残った」「分か
りやすく、作業をしたのも
新鮮だった」との感想が寄
せられました。普段の備え
と自助、共助を改めて学ん
だ一日となりました。

若草5自主防 災会に表彰状

若草五丁目自主防災会
(太田吉一会長)は1月12
日、草津市消防出初式の
式典席上、優良自主防災

組織として草津市長表彰を
受けました。

これは平成24年度に三回
にわたり町内の各班路上で
実施した訓練と学習会の実
施が評価されたものです。

訓練は隣接の消火栓から
自分たちの家へのホースの
接続経路・状況の確認、放
水手順の体験。集会所にお
いての消火器の取り扱い訓
練、火災警報器の設置、家
具の転倒防止について知識
の習得を南消防署の指導に
より実施しました。
毎回約20人が参加、自分
たちの町は自分たちで守る



緑化ボランティア

「花と緑に囲まれた美しい
町づくり」をコンセプト
に平成18年志津南地区社
会福祉協議会の事業の一
環として「花ボランティア
アグループ」とともに立
ち上がりました。

住民の皆さんと土に触れ草
木に接しながら地域の環境
美化に取り組みながらコ
ミュニティが生まれる場
です。参加されている皆さん
の表情が生き生きしてお
られるのを見ると活動の役割
と魅力を感じます。

児童公園・緑道などの環
境美化・維持管理は、年2
回の一斉清掃および町ごと
の自主清掃で対応されてい
ますが、草木の生長が早く、
作業が追いつかない状況にあ
ります。

緑化ボランティアでは、
このような状況を補完し、
良好な環境が維持されるよ

う、草木の繁茂により景観
が損なわれている個所の草
刈り・剪定作業を行ってい

ます。
今年は志津南市民セン
ター周辺、志津南小学校の
通学路、調整池

内外の草刈り・
剪定も実施し
ました。
一方で各町内
に草刈り隊が
立ち上がるな
ど住民の皆さん
の環境美化
に対する関心
が高まり、公
園・緑道が美
しくなってい
ます。
若寿会、一味ク



草刈り作業で集合したメンバー

今後はこれらの各種団
体の皆さんと連携を取りなが
ら「緑豊かな美しい町づく
り」の一助になるように活
動を続けたいと思います。
活動に参加して下さい。メ
ンバーを募っています。
毎月第一火曜日午前8時
30分から2時間程度の活動
です。
ぜひご参加ください。
【代表】降矢義夫(5621
5075)



訓練する五丁目内会員
すべく大震災が発生し他か
らの援助が期待できない状
況で、隣近所が助け合い、
一致協力して対応すること
を目的にスタートした取り
組みで、今後継続的な訓練
の実践、災害に強いまちづ
くりを目指し町内の皆さん
と一緒に頑張って取り組んで
いきたいと思ひます。

集会所改修終わる

若草地区には5つの集會
所(土地は草津市所有、建
物は住民のもの)がありま
すが、昭和62年から平成4
年にかけて建てられたこれ
らの集会所は、25年余りを
経て外観各所に劣化損傷が
認められる状況にありまし
た。

および外壁は全面改修、警
報装置や照明その他は適宜
改修しました。
総工費は約520万円
ですが、3分の1は草津市の
補助金で賄われます。



改修を終えた第五集会所

このため、平成24年度に
住民皆さん方にご意見を伺
い、多数の賛同を得て今年
度改修工事を実施、このほ
ど5集会所全ての工事が完
了しました。
これらの集会所は新耐震
基準に合致した構造であり、
基本骨組みに顕著な老朽化
が認められなかったことか
ら、専門家(一級建築士等)
を交えた集会所管理委員会
において種々検討し、屋根

集会所は住民の皆さん方
に活用されてこそ、その価
値を發揮するものです。今
後、より多くの皆さん方に
活用していただくべく、そ
のあり方について検討して
参ります。改修を機に積極
的な活用を願っています。
(集会所管理委員会)

元気よく餅つき大会



「よいしょ、よいしょ」と掛け声が聞こえ、子どもたちは不慣れながらも元気よく杵を持ち上げ臼の中のもちめがけて「ベッタン」。

出来上がったもちはその場で取り分け、自分がついたもちをいただきました。

人権講座 歌と話でなごやかに

志津南地区人権教育推進委員会と志津南市民センター共催の「町内学習懇談会結果報告会および人権講座」が1月25日、同センターで開催され、67人が参加しました。写真。

「町内学習懇談会結果報告会」では、各町内会から10月に行われた学習懇談会の結果が報告され、各人権教育推進委員らがそれぞれの取り組みを発表しました。今年度の学習懇談会には全体で166人が参加しました。

このあと、大阪のシンガーソングライターの趙博(ちよーぼく)さんを迎え、「浪



たもちをいただきました。きなこ・しょうゆ・大根おろしなど用意し、いろいろな味を楽しみながら「おいしい」との声があちこちからあがりました。また、地域の方の協力で豚汁を配り、子どもも大人も体が温まり、楽しくすごしました。

速の歌う巨人バギヤン、志津南に参上！」と題し、歌あり、お話ありの「人権講座」が開催されました。

原発を風刺した「サントワマミー」、結婚差別を歌った岡林信康の「手紙」、戦争の悲劇を歌った美空ひばりの「一本の鉛筆」のほか、韓国の民族楽器の太鼓による「ヨイトマケの唄」などを熱唱。その一方で、世の中の矛盾をつき、命の尊さを伝える芯の通ったお話しも。兵庫や福島のFMラジオで活躍されているだけあって大変聞き応えのあるものでした。

参加者からは「学生だった頃に耳にしていた歌が思想的な歌だったことに気づかされ、そのような歌がすぐ身近にあったことはよい時代だったのだと思います」「バギヤンさんの歌「ミンナツヨクテ ミナヨワイ

折々の記



今年も風邪の季節がやって来た。街のあちこちで、マスク姿の人々を多く見かけると風邪がはやっていっていることが分かる。中でもインフルエンザは、とてもやっかいで、誰かが罹るとたちまちに周囲の人たちに広まってしまい、一気に大流行となってしまう。一度罹ってしまえば、最低5日間ほどは自宅療養が必要だ。

私職場でも数週間前からこのインフルエンザが広がらだし、何人かは、仕事を休んでいる。人手不足の上に、一度に何人も休まれるともう職場は回っていかない。代わりに他の社員が休み返上で、出勤している。こんな状態だから、みんなインフルエンザに罹らないようにと予防には充分気をつけている。

達に残したいです」などの人権に対する感性や想像力が、だれも個性豊かに人らしく生きられる今後のまちづくりにつながっていくことを期待します。

インフルエンザ

きやすくなる一方で、入浴は全身を温めこの免疫細胞を全身にいき渡らせる効果があるとのこと。

また、食事でインフルエンザ予防が出来ることも分かった。ヨーグルトである。ヨーグルトには免疫力を高める乳酸菌が含まれており、この乳酸菌が、体内に入ると腸内細菌とは異なる菌が入ってきたことを免疫細胞が認識し、免疫システムが働き始めるというのだ。し

しかし、健康管理は日ごろの心構えが必要だろう。外から帰ってきたら、まずは手洗い・うがいは勿論のこと、偏った食事をしない、睡眠不足にならないように夜は早めに床に就く、明日からでも遅くはない、まずは日常の生活環境を整えることから始めることとしよう。(8丁目 H・A)

こよみ

- 2月15日(土)
 - ☆健康ウォーキング(若寿会) 8:45 若草中央公園集合
- 2月22日(土)
 - ☆社会奉仕 8:30 若草中央公園集合
- 2月26日(水)
 - ★やすらぎ学級 13:30~17:00
- 2月25日(火)
 - ★地域サロン: 懐メロを歌う会 10:00~11:30
- 3月1日(土)
 - ☆健康ウォーキング(若寿会) 8:45 若草中央公園集合
- 3月7日(金)
 - ★ふれあい昼食会 12:00~13:00
 - ボランティア「泉」
- 3月11日(火)
 - ★地域サロン: 懐メロを歌う会 10:00~11:30
- 3月12日(水)
 - ☆やすらぎ学級閉校式 9:15~16:00
- 毎週金曜日
 - ☆ふれあい喫茶(お茶の間) 10:00~12:00 第五集会所
- ★印の場所は志津南市民センター(公民館)です